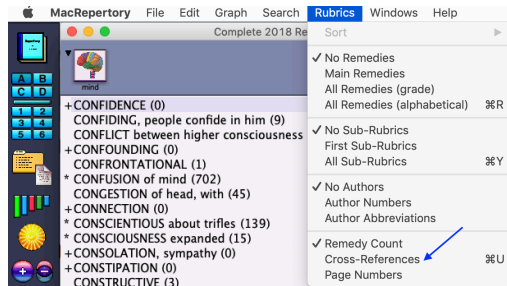


Q.

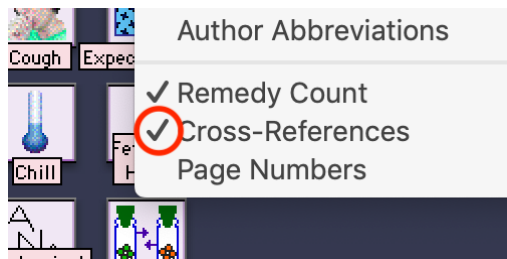
クロスリファレンスとはなんですか？

A.

MacRepertoryには「クロスリファレンス」という便利な機能があります。この機能を使って、「似たような意味」のループリックを表示することが可能です。ではMacRepertoryをスタートして、画面の上のメニューから「Rubrics」をクリックして、「Cross-References」を選択しましょう。

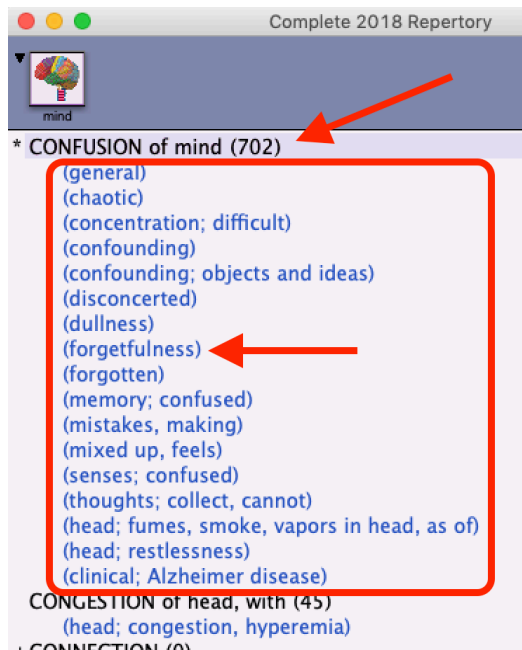


うまく選択できたかは、横にチェックがついていることで確認できます。

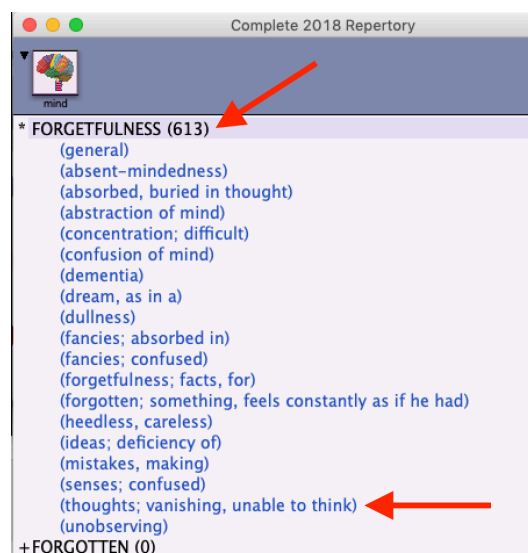


次は「混乱して、何もかも忘れてしまい、頭が空白になってしまう」という症状のループリックを探してみましょう。

Mindを開き、「Confusion…」のループリックを見てみると、青い文字で、「Confusion..」というループリックを考えているならば、こういったループリックも参考にしてみてはいかがでしょうか、といった例が表示されています。



では、「混乱して、何もかも忘れてしまい、頭が空白になってしまう」という症状なので、「Forgetfulness」をみてみましょう。青い文字の「Forgetfulness」をクリックすると、自動的に「Forgetfulness」までいってくれました。再び、「Forgetfulness」の下に青い文字で表示されている「クロスリファレンス」をみてみると、今度は「thoughts; vanishing, unable to think」というとても「…何もかも忘れてしまい、頭が空白になってしまう」という症状に近いループリックが見つかりました。



「thoughts; vanishing, unable to think」をクリックすると、実際にそのループリックまでいってくれるので（青い文字のままだと、参考として表示しているだけなので、そのままスリップボードに入れられません）、クリップボードに付け加えることができます。



このようにして、ピョンピョン「クロスリファレンス」で飛んでいくことによって、的確なループリックにたどり着くことが可能です。

どのようなループリックが存在するのかという知識も、MacRepertoryでこの機能を使って楽しんでいくうちに、身についていきます。

